

●夏休み期間中の図書館の開館時間変更について 7月21日(水)から8月31日(火)までの夏休み期間中、図書館の開館時間を午前9時から午後6時までに変更します。ただし、毎週火曜日は休館日となります。

暑い夏に読みたい背筋が凍るホラー小説



「火のないところに煙は」
芦沢 央 / 著



「クリーピー〜CREEPY〜」
前川 裕 / 著



「残穢(ぞんえ)」
小野 不由美 / 著

「神楽坂を舞台にした怪談」を依頼された作家の「私」は、かつての凄惨な体験を振り返り、事件を小説として発表することで情報を集めようとするが…。『小説新潮』連載に書き下ろしを加えて単行本化。
芦沢央氏は、1984年東京生まれ。「罪の余白」で野生時代フロンティア文学賞を受賞しデビュー。ほかの著書に「悪いものが、来ませんように」「今だけのあの子」など。

杉並区の住宅街に、微妙に孤立して見える一戸建てが3軒。大学教授の高倉家、4人家族の西野家、老親子が住む田中家。ごく薄いつきあいの隣人同士の関係は、田中家の失火炎上を契機とするかのように、大きく歪みはじめ…。
前川裕氏は、1951年東京生まれ。東京大学大学院比較文学専攻修了。法政大学国際文化学部教授。専門は比較文学、アメリカ文学。「クリーピー」で第15回日本ミステリー文学大賞新人賞を受賞。

畳を擦る音が聞こえる、いるはずのない赤ん坊の泣き声がある…。この家はどこか可怪しい。何の変哲もないマンションで起きる怪奇現象を調べるうち、浮き上がってきた「土地」を巡るある因縁とは？長編ホラー。
小野不由美氏は、大分県生まれ。作家。「残穢」で山本周五郎賞受賞。著書に「魔性の子」「東京異聞」など。

8月の催しもの

とき	催しもの
2・9・16・23・30日(月)	午前11時～ あかちゃん絵本 よみかかせ会
28日(土)	午後3時～ 世界のお話しひろば

◆展示会
南谷 真氏「やさしいひなんちず」紹介展示会
8/16(月)～8/30(月)

その他の本

- ◆「リターン」 五十嵐 貴久 / 著
- ◆「二階の王」 名梁 和泉 / 著
- ◆「ぼぎわんが、来る」 澤村 伊智 / 著
- ◆「黒い家」 貴志 祐介 / 著
- ◆「ぼっけえ、きょうてえ」 岩井 志麻子 / 著
- ◆「巷説百物語」 京極 夏彦 / 著
- ◆「クリスティーン」上・下 スティーヴン・キング / 著 深町 真理子 / 訳

俳句 「帰省子」
ふそう俳句会

帰省子に犬の尻尾の踊りけり
月涼し臥所に浮ぶ一句かな
未来とは問はれ瞋目さるすべり
伊藤美保子
上杉 椿
近藤 喜山

川柳 扶桑川柳クラブ

猛暑にも負けずコロナに唱を入れ
この夏も暑さ対策付け焼刃
慰めて慰められて共に笑み
土屋 夢子
石田游多伽
山田津多恵

短歌 「水神」
ふそう短歌会

本曾川に水神さまのおわずなら
水禍とコロナの抑え願わむ
庭に咲くどくだみの白わが邪念
とかしくれたり雨のゆうべに
中山 哲也
桜井 五月
鈴木 淑子

詩吟 「暁に発す」
月田 蒙齋

残月の滴露人の袂を湿す
暁風髪を吹いて秋冷を覚ゆ
忽ち驚く大蛇の路に当たって横たわるを
「意」 残月が未だ空に輝いている早朝に宿を出ると、滴る夜露で袂もしっとり濡れてくる。明け方の風が髪に毛を吹きつけて、早くも冷え冷えとした秋の気配が身を引き締める。ふと見れば、道の行く手に大蛇が横たわっているではないか。あつ、とばかり刀を抜いて斬ろうとして、よくよく見れば、何とそれは松の古木の影であった。

正風流二代目家元 山内 正風